

組織目標評価報告書（令和6年度）

部局名:

大学院医歯薬学総合研究科

学域名:

医歯薬学域

部局長名:

成瀬 恵治

目 標・取 組		目標・取組の達成状況(成果)及び新たに生じた課題等 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	関連する 中期計画の番号	教育領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
① 大学院充足率100%以上を目指す。特に博士後期課程の定員充足に向けて、HP(SNS発信を含む)での効果的な研究紹介や入学説明会を実施する。各研究室において留学生を積極的に受け入れるような環境を整えるよう働きかける。 ② AI関係の人材育成のために東北大学・北海道大学との共同講座「Clinical AI」でのAI人材育成を引き続き行う。特に医療への応用を目指しリカレント教育に力を注ぐ。 ③ 留学生受入数増加のため、オンライン入試を行う。また広報としてHPの英語版の充実を図るなど積極的な情報発信に取り組む。	(2-1) (4-1) (5-1) (6-1) (7-1)	①大学院充足率125%(160/128)と、目標値を大きく超えることができた。 ②AI関係の人材育成のために東北大・北大との共同講座「Clinical AI」でのAI人材育成を引き続 き行った。また、医学系にAI関連講座立上を計画している。第4回AIの基礎ハンズオンセミナー を開催した。 ③留学生199名が鹿田キャンパスに在籍している。また、第8回留学生研究発表会を開催し123 名の参加者を集めることができた。
②研究領域	関連する 中期計画の番号	研究領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
① 科研費獲得率75%以上、申請率100%を目指す。そのために、応募資格者を把握し、有資格者に対し科研費申請を働きかけるとともに、予備添削などを組織的に行う。また、民間助成金などへの積極的な応募を促す。 ② 橋渡し研究プログラムを推進のため、中四国の各大学とさらに密に連携し、学内外からシーズを募り、優れたシーズを発掘する。 ③ 学内外・異分野との共同研究を促進するため、ブレインストーミングなどを開催する。 ④ Top10論文、Q1ジャーナル論文、国際共著論文の重要性について構成員に周知する。特にQ1ジャーナル掲載数については対前年度比1.8%増を目指す。 ＜研究科の系としての目標・取組＞ ※研究科の系として独自の目標・取組がある場合は、こちらにご記入ください。	(8-1) (8-2) (10-1) (10-2)	①科研費獲得率:医学系(病院含む):33.1%、歯学系(病院含む):33.3%、薬学系:39.1% 申請率:医学系(病院含む):88.6%、歯学系(病院含む):118.6%、薬学系:223.1% 予備添削:医学系(病院含む):43件、歯学系(病院含む):6件、薬学系:10件 応募資格者のリストを作成し、資格者には必ず科研費を応募してもらうよう働きかけた。民間助 成金に591件応募した。 ②橋渡し研究プログラムを推進のため、中四国の各大学とさらに密に連携し、学内外からシー ズを募り、優れたシーズを発掘した。 ③直島ベネッセハウスにてブレインストーミング2024を開催し密度の濃い議論を行うことがで きた。また2025年に向けた準備も開始した。 ④Top10論文、Q1ジャーナル論文、国際共著論文の重要性について構成員に周知するととも に、「成果を中心とする実績状況に基づく配分」での重要な項目であることを解説した。
③社会貢献(診療を含む)領域	関連する 中期計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
① 地域医療への貢献の面から、研究科所属の寄付講座を新規に設置、又は必要に応じて更 新を検討する。 ② 治験の推進などについて、CMA-Okayamaの活動に研究科として協力する。 ③ 岡山健康講座を市民公開講座として開講し、市民、県民の健康増進に協力する。	(1-1)	①現在、28講座(継続23講座、R6年度新設5講座)が開設されている。 ②岡山大学臨床研究講習会を開催した。岡山大学特定臨床研究監査委員会を主催した。 ③岡山健康講座2024を鹿田会館にて5回開催した。好評につき引き続き2025年にも開催予定で ある。
④管理運営領域	関連する 中期計画の番号	管理運営領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
① 種々のコンプライアンス関連の講習会・研修会への教職員の出席を促す。 ② 若手教員・女性教員の積極的採用や、研究助教の設定などを行い、研究・教育の場で活躍 しやすい環境を作る。		① 種々のコンプライアンス関連の講習会・研修会への教職員の出席を促した。 ② 若手教員・女性教員の積極的採用や、研究助教の設定などを行い、研究・教育の場で活躍 しやすい環境を作った。

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5～1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。